

自己ベストに挑戦！ 小学校陸上記録交歓会

「只見町小学校陸上記録交歓会」が、9月27日に町下運動広場で開催され、町内3小学校の5、6年生が参加しました。

雨の降る中の競技となりましたが、児童たちは自己記録の更新などを目標に全力で取り組みました。

大会中、天候の悪化により、フィールド競技は後日各小学校で行うことに変更し、男女混合リレーが繰り上げで行われました。悪天候の中でも、すべてのチームが息の合ったバトンパスで、ゴールまで一生懸命に走りました。

只見町小学校陸上記録交歓会入賞者(3位まで)

※敬称略

	順位	男 子	女 子
1000m (男子) 800m (女子)	1位	五十嵐寛真 (只・6) 3分35秒	長谷川来々 (只・6) 3分01秒
	2位	菅家 一晟 (只・6) 3分53秒	酒井 莉里 (朝・5) 3分59秒
	3位	藤田 歩夢 (只・6) 3分56秒	
100m	1位	五十嵐慶伍 (明・5) 16秒1	目黒 美結 (朝・6) 16秒6
	2位	増田 琉気 (只・5) 16秒7	梁取 海未 (明・6) 16秒9
	3位	鈴木 冬真 (只・6) 17秒3	三瓶 結妃 (明・5) 16秒9
80mハードル	1位	渡部 永遠 (只・6) 18秒1	矢沢 茜音 (只・6) 16秒6
	2位	藁谷 茂 (朝・5) 18秒6	齋藤ひまり (只・6) 16秒9
走り幅跳び	1位	五十嵐寛真 (只・6) 4m20cm	長谷部七歌 (只・6) 3m60cm
	2位	野中 竜丞 (朝・6) 3m05cm	矢沢 茜音 (只・6) 3m45cm
	3位	藁谷 茂 (朝・5) 3m00cm	角田 陽咲 (明・6) 2m81cm
走り高跳び	1位	酒井 健生 (明・6) 1m19cm	渡部 美礼 (明・5) 1m00cm
	2位	馬場 慈 (明・6) 1m19cm	五十嵐琴音 (朝・5) 88cm
	3位	菅家 一晟 (只・6) 1m05cm	
ジャベリック ボール投げ	1位	新國 璃空 (只・6) 47m22cm	酒井 乃愛 (只・6) 30m70cm
	2位	星 颯馬 (明・6) 43m93cm	目黒 美結 (朝・6) 30m00cm
	3位	藤田 歩夢 (只・6) 41m90cm	三瓶 れん (朝・6) 26m10cm
男女混合リレー	1位	只見A 1分07秒7	
	2位	明和A 1分10秒4	
	3位	只見B 1分11秒2	

給食の提供に関する高い意識、技術が評価されました

目黒千里さん「学校給食功労者表彰」受賞

「令和5年度学校給食優良団体・功労者表彰」の表彰式が行われ、只見町学校給食センター調理責任者の目黒千里さんが、「学校給食功労者表彰」を受賞しました。

同表彰は、学校給食の普及や改善に貢献された方を表彰するものです。目黒さんは、学校給食センターの中心的な役割を担い、衛生管理や調理技術に関する専門知識を生かし、若手職員への指導を熱心に行っており、センター職員全体の意識や技術の向上に貢献していることなどが評価され、表彰状が贈られました。



▲学校給食功労者表彰を受賞した目黒さん

心を一つに戦い抜きました

市町村対抗県野球・ソフトボール 結果報告会

市町村対抗県軟式野球及びソフトボールの只見町チームの結果報告会が、11月1日に役場庁舎で行われました。

小林拓矢監督率いる軟式野球チームは、一回戦で飯館村に10対3で快勝しましたが、二回戦の猪苗代町に惜敗しました。

馬場秀明監督率いるソフトボールチームは、一回戦で川内村に19対0で快勝しましたが、惜しくも二回戦で南会津町に敗れました。

また、ソフトボールチームに所属する馬場晶子さんが優秀女子選手賞に選ばれました。



▲ソフトボールの馬場監督は「家族の理解と協力がなければ出場が難しい。家族に感謝しています」と話しました

親子で楽しく参加しました

町内保育所「親子料理教室」開催



▲参加した園児にパンフレットなどが配られました

町内3保育所で「親子料理教室」が開催され、保育所園児と保護者が「すいとん汁」や「きのこのカレー」、「ただみ産トマトのハヤシライス」を作りました。(只保/10月4日、明保/10月5日、朝保/10月6日)

包丁やピーラーを使う園児は、いつも以上に真剣な顔で料理をしました。保護者は子どもたちの成長を感じる教室となりました。

また、只見町ヘルスメイトからは、おやこ料理教室のパンフレットやバンダナなどの配布があり、「お家でもぜひ作ってくださいね」と声をかけました。

苦楽を共に半世紀

「しあわせ金婚夫婦表彰式」開催

只見町老人クラブ連合会主催の「しあわせ金婚夫婦表彰式」が11月9日に季の郷湯ら里で開かれ、金婚を迎えられた町内のご夫婦17組のうち9組が出席しました。

表彰式では、参加各組に表彰伝達や記念品の贈呈が行われました。その後、菅家三雄さん・三保子さんご夫婦が、受賞者を代表し謝辞を述べました。菅家さんは「ケンカをしながら、絆を深めた50年でした。今まで以上に支え合い、豊かな人生を送っていきたいです」と話しました。



▲これからも夫婦仲良く幸せにお過ごしください

ふるさと交流都市・千葉県柏市

永楽台地域文化祭、酒井根近隣センター文化祭

ふるさと交流都市・千葉県柏市で、永楽台地域文化祭（10月21日、22日）、酒井根近隣センター文化祭（11月1日、12日）がそれぞれ開催され、会津ただみ振興公社職員と町職員が参加し、町のPRなどを行いました。

町から永楽台地域文化祭に参加するのは4年ぶりで、子どもから大人まで多くの方が只見町ブースを訪れました。

酒井根近隣センター文化祭では、只見町の山菜などを求める方がブースへと足を運びました。



▲多くの方に足を運んでいただき賑わいを見せた只見町ブース

ふるさと交流都市の美味しいものを交換

給食食材交換事業 実施



▲給食を通じて柏市との交流を深めました(朝日小)

ふるさと交流都市・千葉県柏市と只見町が行う「学校給食用食材交換事業」として、町内の小中学校で柏市産のブルーベリーを使用した給食が提供されました。

この事業は平成24年度から行われており、両市町の主要農産物を交換し、交流と食育の推進を図るものです。

柏市からはブルーベリーが提供され、只見町からはコシヒカリを提供しました。

朝日小では、柏市立第八小学校とオンライン会議システムで繋ぎながら、お互いに感想を伝え合うなどし、交流しながら食材交換給食を味わいました。

未来へつながる歴史の道「八十里越リレー講演会」開催

「歴史の道八十里越リレー講演会&八十里フォーラム2023 inただみ」が11月5日に只見公民館で開催されました。

第1部リレー講演会では、八十里越調査保存整備委員を務める長谷部忠夫さんが「絵図から見た八十里越」をテーマに講演し、第2部八十里越フォーラムでは、元NHKエグゼクティブアナウンサーの国井雅比古さんと八十里倶楽部の大竹晴義さんが講演し、その後、「八十里越の未来」をテーマに講師3人によるパネルディスカッションが行われました。



▲第1部の講師を務めた長谷部忠夫さん

只見線に感謝を

幕末の侍などの仮装を行いお出迎え、お見送り

只見町河井継之助記念館は、JR只見線全線運転再開1周年を記念し、仮装して臨時列車などに手を振るイベント「JR只見線に手を振ろう～会津塩沢から感謝を込めて～」を10月1日に開催しました。

一般参加者と記念館のスタッフを合わせて約20人が、幕末の侍や農民の仮装をし、「河井継之助 終えんの地」駅（会津塩沢駅）前で、臨時列車「海里」を含む上下3本の列車に手を振りました。

只見線の乗客は、手を振る参加者を見つけると笑顔をこぼし、車窓からカメラを構えたり、手を振り返すなどしました。



▲臨時列車「海里」に手を振る参加者の皆さん
(写真提供：東京都 木村和茂様)

とりっくおあとリーと

かるがもクラブ「ハロウィン絵本づくり」



▲たくさん体を動かしながら、素敵な絵本を作りました

10月のかるがもクラブでは「ハロウィンオーナメント作り」が企画され、親子6組が参加しました。

始めに、親子でのスキンシップやコミュニケーションを楽しむふれあい遊びを行い、その後、ハロウィン絵本作りを行いました。

絵本作りは、くまさんが描かれたページが子どもたちに配られ、部屋中に隠された帽子や服、お化けなどのページを探し集め、組み合わせながら、「ハロウィンを楽しむくまさんの絵本」をつくるもので、親子で楽しみながら完成させました。

みんなでハロウィンを楽しみました

「ハロウィン映画まつり」開催

中央公民館主催の「ハロウィン映画まつり」が11月4日に明和公民館で開催され、約40人が来場しました。

会場となった明和公民館には、ハロウィンモチーフのフォトスポットが作られ、子どもたちは映画上映の前後で記念撮影をしました。また、当日は仮装して参加する親子の姿もあり、映画とハロウィンを満喫しました。

子どもたちは「友達と一緒に映画が見られて楽しかった」、「仮装して写真撮れたのが嬉しかった」と話しました。



▲フォトスポットで撮影をする子どもたち

ダンスを通じて、交流を深める 「スクエアダンス交流会」開催

スクエアダンスの教室の生徒や指導者らが集まり、交流を深める「スクエアダンス交流会」が、9月26日、27日に季の郷湯ら里で開催され、只見教室の他、青森県や神奈川県などから、約40人が参加しました。また、世界的に活躍されているスクエアダンスコーラーのマック小島氏が前回に引き続き来町されました。

参加者は「楽しく素敵な時間を過ごしました。頭の体操や体力づくりのためにも続けていきたいです」、「只見町の景観と人間に感動しました。食べ物も美味しかったです」と交流会も只見町も満喫した様子でした。

町内でスクエアダンスに興味がある方は、渡部和子さん（TEL：0241-82-3242）にお問い合わせください。



▲スクエアダンスに参加された皆さん

駅前の賑わいづくりの一助に 「しおさわ庵」再オープン



▲多い日には100食以上出たそうです。「お蕎麦もつゆもこだわって作っています」とこだわりのお蕎麦をお客さんに提供しています。

塩沢、十島地区の住民有志が運営する「そば処しおさわ庵」が10月7日、JR只見駅前に再オープンしました。

しおさわ庵は、以前、塩沢集落内で営業していましたが、新型コロナウイルスの影響により閉店を余儀なくされました。しかし、運転再開で只見駅を訪れる人の「せっかく只見町に来たのに食事場所が少ない」という声を受けて、有志の皆さんは再び営業を決意しました。

代表の岩淵勝征さんは「美味しいお蕎麦で駅前の賑わいづくりに繋げていきたいです。少しでも地域貢献に繋がればうれしいです」と話しました。

なお、今シーズンの営業は終了しましたが、雪まつり期間中は営業予定とのことで、また春から営業を再開します。

集落の活力作りに 「ふざわ食堂・布沢資源加工所」オープン

「ふざわ食堂・布沢資源加工所」のオープニングセレモニーが11月19日に布沢区内同食堂で開催されました。

同施設は、県地域創生総合支援事業を利用して、空き家を改修し活用しており、食堂ではそば料理やカレーなどを提供する予定で、併設されている加工所では、山菜や野菜などの加工が可能です。地域住民が運営します。

食堂は、予約制となっておりますので、ご利用の際は、事務局（TEL：090-8251-3959）にご連絡ください。



▲関係者らとセレモニーに駆け付けた住民、来賓の皆様

山村教育留学生に只見町の郷土料理を提供 奥会津学習センター食育事業

「全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト 若者世代」の奥会津学習センター食育事業として、只見町ヘルスマイトの渡部ヨリ子さん、酒井マツ子さん、齋藤陽子さんが、奥会津学習センターで山村教育留学生に「ざく煮」の試食提供と食に関する講話を行いました。

講話では、野菜摂取や塩分量を控えることなど、若いうちからの食事での健康づくりの重要性について伝えられました。

ざく煮の試食では、生徒たちが「美味しい」と感想を伝えました。



▲講話を聞きながら、ざく煮を味わう留学生たち

これからの只見町を考える

只見中総合学習「町づくり講話」

只見中学校の総合学習で、「町づくり講話」が行われ、只見中3年生が町職員から、「令和22年度の人口目標値を達成するために」、「只見町の農林業の現状と課題」、「新しい人の流れをつくるために」の3つのテーマで講話を受けました。



▲「只見町の農林業の現状と課題」について講話を行った農林建設課の三瓶副課長と真剣に聞く生徒

只見中学校の総合授業では、「持続可能な只見町をつくろう」をテーマに各学年で学習を進めています。現3年生は昨年度「只見町の産業」について学習し、今年度は人口減少や少子高齢化、それに伴う町村合併や学校統合の問題点などについて学習しました。その一環として今回の講話が行われました。

講話後には、生徒から多くの質問が出され、只見町を学ぼうとする意識の高さが見られました。

全国の民具学研究者、関係者が一堂に会する

「日本民具学会第45回大会」開催

「日本民具学会第45回大会」が11月18日、19日に季の郷湯ら里で開催され、全国の民具学研究者らが集まりました。

18日には、一般参加者も傍聴可能な公開トーク「モノと語る—只見民具整理の始まりと未来—」が開かれました。公開トークは神野善治民具学会会長が司会を務め、トークには、佐々木長生大会実行委員長、佐野賢治神奈川大名誉教授の他、只見町から新国勇さん、飯塚恒夫さん、星美弥子さんが出席しました。

トークでは、集めた民具をスクールバスで一箇所に運んだエピソードなどが語られ、「只見町の民具整理は熱い気持ちを持った住民の参加に価値がある」と佐々木さんらは話しました。



▲公開トークでは、今後の活用などについても触れられました。